



コード:4875



MEDICINOVA

MNOV
NASDAQ[®]
LISTED

2014年12月期決算説明会

メディシノバ

代表取締役社長兼CEO 岩城裕一
チーフメディカルオフィサー 松田和子
副社長、東京事務所代表 岡島正恒

平成27年3月13日



将来の見通しに関する記述

資料には、1995年米国民事証券訴訟改革法に規定する「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、当社の製品候補の期待される進捗、ライセンスの可能性、提携プランなどに関する記述が含まれます。これらの記述は、当社の経営陣がその時点の状況下において合理的であると判断して立てた前提に基づくものです。このような記述は、臨床試験の結果、見込み提携先の市場利益、当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスク、不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつかの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものです。実際の当社の業績は、「将来の見通しに関する記述」に示唆されるものと大きく異なることがあります。



会社理念と経営方針

会社理念

十分な治療がまだ確立していない疾病を患う
世界中の患者さんに、
よりよい治療を提供することにより社会に貢献すること。

基本経営方針

理念を具現すべく、こうした疾病の問題を
改善する医薬品の導入、開発、販売を手がける
グローバルな製薬企業を目指すこと。



会社概要

- **本社所在地**

4275 Executive Square, Suite 650, La Jolla, California 92037, USA

- **東京事務所所在地**

東京都港区西新橋1-11-5 新橋中央ビル5F

- **設立年月日**

2000年9月26日

- **資本の部**

22,010,589米ドル (約26.3億円)
(2014/12月末時点)

- **上場市場**

- 2005年2月8日 東証JASDAQ市場上場
- 2006年12月7日 米国NASDAQ市場上場

- **主な事業内容**

医薬品の開発





経営陣

執行役員



岩城裕一
代表取締役社長兼CEO
(最高経営責任者)

ピッツバーグ大学教授、
南カリフォルニア大学教授歴任、ジャフコ、
日本政策投資銀行顧問役



岡島正恒
副社長
東京事務所代表

大和証券 SMBC、
住友キャピタル証券、住友銀行



松田和子
チーフ・メディカル・
オフィサー
(CMO)

南カリフォルニア大学Keck メディカルス
クール助教授、ロサンジェルス小児病院
ロマリダ大学小児病院



**ジェフリー・オブライ
アン**
副社長
管理部門担当

UBS, DLJ/クレディ・スイス・ファース
ト・ボストン、野村、パンク・ズィーガル
の株式アナリスト



**エスター・ヴァン・デ
ン・ブーム**
チーフ・ファイナン
シャル・オフィサー
(CFO)

アーンスト&ヤング (米国公認会計士)、
Universal Life Resources

(独立) 取締役

ジェフ・ヒマワン
取締役会長

エセックス・ウッドランズ・ヘルス・ベン
チャーズマネージング・ディレクター、
シードワンベンチャーズ共同創業

中田貢介
取締役

キッセイ薬品工業株式会社

繁田寛昭
取締役

ザ・メディシズ・カンパニー取締役、中
外製薬取締役、
日本ロシュCEO

小林温
取締役

セガサミーホールディングス株式会社顧問、
参議院議員 (経済産業大臣政務官、参議院
自由民主党政策審議会副会長)

石坂芳男
取締役

トヨタ自動車顧問、トヨタ自動車海外部門
統括担当副社長、米国トヨタ自動車販売社
長



本日のアジェンダ

- ◆ ハイライト
- ◆ メディシノバの主要パイプライン
- ◆ 2015年の開発予定
- ◆ 2014年12月期決算状況
- ◆ メディシノバの株価状況

ハイライト



事業活動ハイライト-1

2014年

- 1月：
 - Genzyme社から遺伝子治療プログラムに関するマイルストーン6百万米ドルの受領を発表
 - MN-001のNASH（非アルコール性脂肪性肝炎）を適応とする試験結果を発表
- 3月：
 - イブジラスト（MN-166）のマリファナ依存症治療を適応とする臨床試験に対する米国国立薬物濫用研究所の資金供与決定およびフェーズ2a臨床試験開始を発表
 - 今後の開発方針に関するお知らせを発表
- 4月：
 - 石坂芳男氏（元トヨタ自動車海外部門統括担当副社長）の取締役就任を発表
 - ヴァン・デン・ブーム氏（元Ernst & Young）のCFO就任を発表
- 6月：
 - MN-001のPF（肺線維症）を適応とする試験結果を発表
- 8月：
 - MN-001の進行型NASH（線維化を伴った非アルコール性脂肪性肝炎）を適応とする試験結果を発表
 - MN-001及びMN-002の非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）治療を適応とする特許（米国）承認を発表
 - MN-166のオピオイド依存症治療を適応とするフェーズ2a臨床試験の中間解析結果を発表
 - MN-166のALS（筋萎縮性側索硬化症）を適応とするフェーズ2a臨床試験開始を発表



事業活動ハイライト-2

2014年

- 9月：
 - MN-166のオピオイド依存症治療を適応とする臨床治験に対する米国国立衛生研究所（NIH）の助成金追加供与決定を発表
 - MN-166の進行型多発性硬化症を適応とするフェーズ2b共同臨床治験の患者登録状況を発表
- 10月：
 - MN-001のNASHを適応とするIND申請及びフェーズ2臨床治験計画に対するFDAからのフィードバック受領を発表
 - MN-001の特発性肺線維症（IPF）治療適応に対するFDAのオーファンドラッグ指定を発表
 - MN-166のALS（筋萎縮性側索硬化症）を適応とするフェーズ2臨床治験に対する米国疾病対策予防センター（CDC）のサポート決定を発表
- 12月：
 - MN-001及びMN-002の肝臓疾患治療を適応とする特許（米国）承認を発表

2015年

- 1月：
 - MN-001のNASHを適応とするIND(臨床試験実施申請)申請に対する承認通知受領を発表
 - MN-029に対する細胞増殖性疾患治療を適応とする特許（日本）承認を発表
- 2月：
 - MN-001及びMN-002のNASHを適応とする特許（米国）承認を発表
 - MN-001の特発性肺線維症（IPF）を適応とするフェーズ2臨床治験の承認通知受領を発表
 - MN-166のALSを適応とするフェーズ2臨床治験の患者登録状況を発表



学会発表ハイライト



2014年

- 9月23日 : - 第18回国際呼吸器線維症学会 (カナダ) 「MN-001の肺線維症動物モデルにおける試験結果について」
- 10月22日 : - 第13回NEALS (Northeastern Amyotrophic Lateral Sclerosis Consortium) 年度学会 (米国) 「MN-166のALSを適応とする臨床試験の詳細について」
- 10月23日 : - 第18回日本肝臓学会「マウスNASHモデルにおけるMN-001の治療効果について」
- 10月24日 : - 第56回日本消化器病学会「マウスNASHモデルにおけるMN-001の治療効果と炎症および細胞増殖性関連物質の遺伝子発現の解析について」
- 11月10日 : - 第65回米国肝臓病学会回 (レイトブッキングセッション) 「マウスの進行型NASH (線維化を伴った非アルコール性脂肪肝炎) モデルにおけるMN-001の治療効果について」

2015年 (予定)

- 3月20日 : - 米国肝臓病学会・製薬産業各社の協賛協議学会 (AASLD and Industry Colloquium) 「MN-001の進行型NASHを適応とするフェーズ2臨床試験について」
- 4月21日 : - 第67回米国神経学会年次総会「MN-166のALS (筋萎縮性側索硬化症) を適応とするフェーズ2臨床試験について」
- 4月23日 : - 第67回米国神経学会年次総会「MN-166の進行型多発性硬化症を適応とする臨床試験について」
- 6月15日 : - 第77回米国薬物依存症学会年次総会「MN-166のオピオイド依存症治療を適応とするフェーズ2a臨床試験の中間解析結果について」



IR説明会ハイライト

2014年

2014年1月22日	モーニングスター主催個人投資家向けIR説明会(札幌)
2014年2月6日	SMBC日興証券大分支店個人投資家向け説明会(大分)
2014年2月7日	SMBC日興証券熊本支店個人投資家向け説明会(熊本)
2014年2月18日	SMBC日興証券奈良支店個人投資家向け説明会(奈良)
2014年2月21日	モーニングスター主催個人投資家向けIR説明会(金沢)
2014年2月28日	モーニングスター主催個人投資家向けIR説明会(東京)
2014年3月28日	通期決算説明会(東京)
2014年4月24日	SMBC日興証券佐賀支店個人投資家向け説明会(佐賀)
2014年5月20日	「賃貸住宅フェア」内株式投資フェア(仙台)
2014年5月27日	「賃貸住宅フェア」内株式投資フェア(福岡)
2014年7月19日	日本経済新聞社主催個人投資家向け会社説明会(大阪)
2014年8月14日	中間決算説明会(東京)
2014年9月17日	SMBC日興証券岡山支店個人投資家向け説明会(岡山)
2014年10月17日	株主手帳主催「有望企業研究会」(東京)
2014年11月25日	大和証券名古屋駅前支店個人投資家向け説明会(名古屋)
2014年11月25日,26日	「賃貸住宅フェア」内株式投資フェア(名古屋)
2014年11月29日	日本経済新聞社主催個人投資家向け会社説明会(東京)

2015年

2015年1月15日	SMBC日興証券新潟支店個人投資家向け説明会(新潟)
2015年2月6日	モーニングスター主催個人投資家向けIR説明会(福岡)
2015年2月13日	SMBC日興証券大阪支店個人投資家向け説明会(大阪)
2015年2月19日	大和証券金沢支店個人投資家向け説明会(金沢)
2015年2月20日	モーニングスター主催個人投資家向けIR説明会(金沢)
2015年2月22日	ラジオNIKKEI主催「IR & 負けない株式投資セミナー」(東京)
2015年2月24日	モーニングスター主催個人投資家向けIR説明会(仙台)
2015年3月13日	通期決算説明会(東京)



メディシノバの主要パイプライン



メディシノバの主要パイプライン

コアプログラム/インディケーション	前臨床	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3
MN-166 経口 抗炎症 / 神経保護作用				
神経変性疾患				
進行性多発性硬化症 NeuroNEXT/クリアブランド・クリニック, 国立神経疾患脳卒中研究所(NINDS)からの助成金				
ALS (筋萎縮性側索硬化症) カロライナ・ヘルスケアシステム神経科学研究所 神経筋/ALS・MDAセンター				
薬物・嗜好品 依存症				
覚醒剤 (メタンフェタミン) 依存症 UCLA, 国立薬物濫用研究所(NIDA)からの助成金				
オピオイド (ヘロイン、処方鎮痛剤) 依存症 コロンビア大学, 国立薬物濫用研究所(NIDA)からの助成金				
アルコール依存症 UCLA, アルコール濫用/アルコール依存症研究所(NIAAA)からの助成金				
MN-001 経口 抗炎症 / 抗線維化				
NASH (非アルコール性脂肪性肝炎)				
IPF (特発性肺線維症)				

ファースト・トラック指定

オーファンドラッグ指定

準備中 (治験実施承認取得済)

準備中 (治験実施承認取得済)



メディシノバの主要パイプライン

MN-166 (イブジラスト Ibudilast)

- 神経変性疾患
 - 進行性多発性硬化症
 - 筋萎縮性側索硬化症
- 依存症
 - オピオイド(ヘロイン、処方鎮痛剤)
 - 覚醒剤
 - アルコール

MN-001 (タイペルカスト Tipelukast)

- 非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH)
- 進行性NASH (NASH+ 線維化)
- 特発性肺線維症 (IPF)

パイプライン開発状況-1

MN-166 (イブジラスト Ibudilast)

- 神経変性疾患
 - 進行性多発性硬化症
 - 筋萎縮性側索硬化症
- 依存症
 - 覚醒剤
 - アルコール
 - オピオイド(ヘロイン、処方鎮痛剤)

MN-166





MN-166 (イブジラスト) の概要

杏林製薬が開発, 1989 年上市 (25年以上の歴史)

- ✓ 低分子化合物、経口カプセル
- ✓ 喘息 および脳梗塞後の“めまい”に適応
- ✓ 既に日本だけで320万人以上に処方 — 安全性・認容性良好
- ✓ 種々のメカニズム (PDE3,4,10,11阻害、MIF阻害作用など) を介し、活性グリアを抑制

ニーズがみだされていない中枢神経系疾患への効果が期待される

- ✓ 神経変性疾患 (進行性多発性硬化症、ALS)
- ✓ 依存症 - 覚醒剤、麻薬系、嗜好品 (アルコールなど)



進行型多発性硬化症適応のフェーズ2b臨床治験の概要

SPRINT-MS study

N = 250

対象・期間：進行型多発性硬化症患者、2年間（96週）

デザイン：プラセボ対照二重盲検試験（全米28施設）

最初の2週間:

プラセボ または イブジラスト60mg/day

2週-8週目:

用量タイトレーション

8週目以降:

プラセボ または イブジラストup to 100mg/日

（被験者の認容性、安全性によっては60mg/日 80mg/日への用量も可能）

目的:

進行型多発性硬化症患者におけるイブジラストの脳萎縮抑制（予防）効果を評価（MRI）

INFβ、コパキサン使用者におけるイブジラスト併用の安全性を評価

パートナー



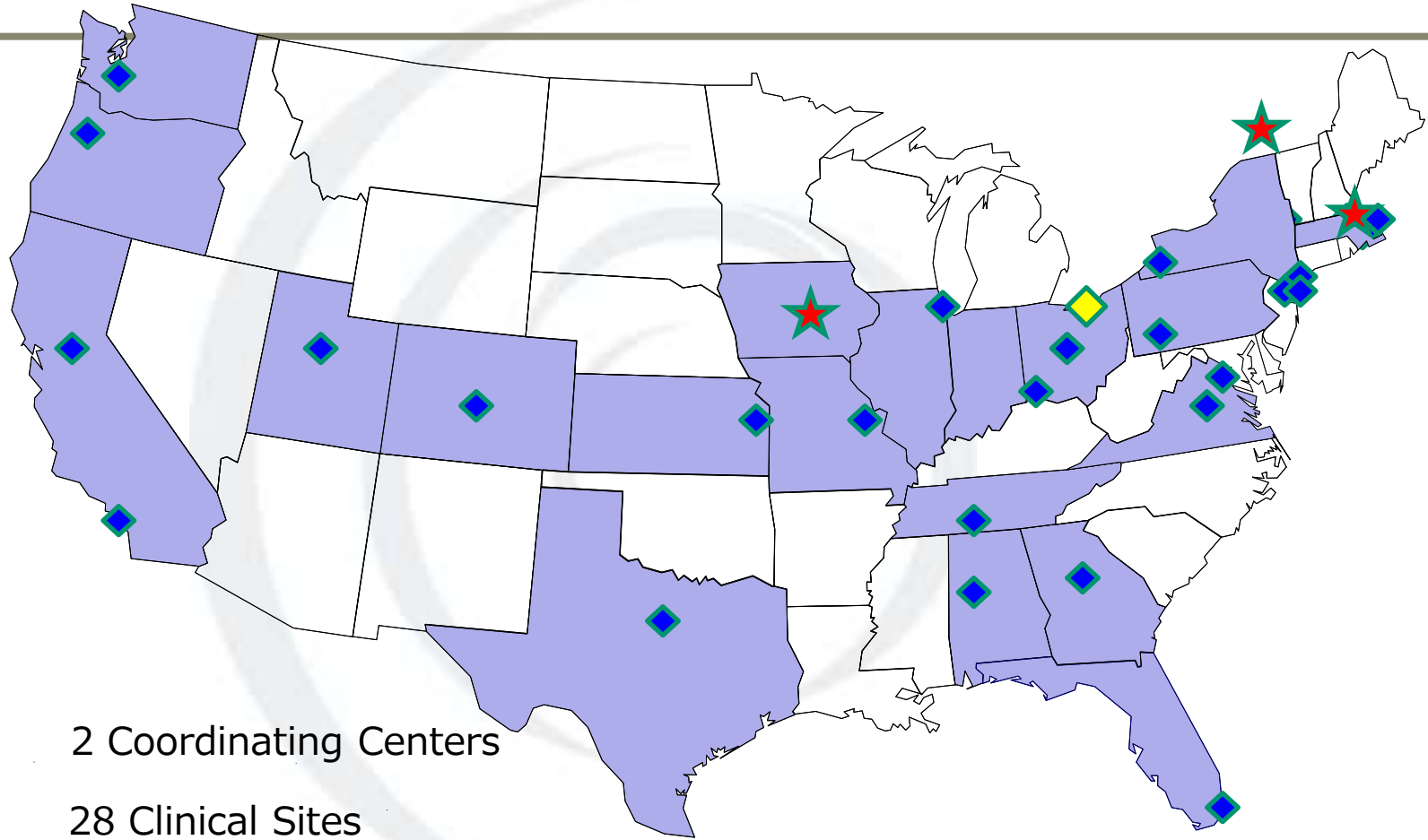
National
Multiple Sclerosis
Society

タイミング

現在進行中



SPRINT-MS study 参加施設



2 Coordinating Centers



28 Clinical Sites



Protocol PI, Pulse Sequence and OCT Coordination



筋萎縮性側策硬化症適応のフェーズ2臨床試験の概要

MN-166-ALS study

N = 60

対象： 筋萎縮性側策硬化症 (ALS)患者
期間： 6ヶ月DB - 6ヶ月OLE (合計12ヶ月)

デザイン： プラセボ対照二重盲検試験 → オープンレーベル

最初の6ヶ月:
プラセボ または イブジラスト60mg/day
6ヶ月以降
被験者全員がイブジラスト60mg/day

目的:
リルゾール服用ALS患者におけるイブジラスト併用の安全性・認容性
および、イブジラストの効果の評価

パートナー



Carolinas HealthCare System

タイミング

現在進行中



覚醒剤依存症適応のフェーズ2臨床試験の概要

UCLA-Meth-Ph2 study

N = 140

対象：治療希望の覚醒剤中毒者

デザイン：プラセボ対照無作為二重盲検試験

用量：プラセボ または イブジラスト100mg/日

期間：3回/週 x 12週間 の外来通院

❖ 身体所見、血液検査、ECG、尿検査などを行う

主要評価項目は、最後の2週間のメタンフェタミン使用の有無

✓NIDA及びFDA推奨の評価項目

パートナー



タイミング

現在進行中



アルコール依存症適応のフェーズ2臨床治験の概要

UCLA-Alcohol abuse study

N = 24

対象：治療希望のアルコール依存症患者

デザイン：プラセボ対照無作為二重盲検、クロスオーバー

用量：プラセボ または イブジラスト100mg/日

期間： 7日間（外来+病棟1泊） x 2セッション

❖ 身体所見、血液検査、ECG、アルコールチャレンジ試験

禁断症状、精神状態、アルコール渇欲度（病棟でのアルコール静注チャレンジなど）

パートナー



タイミング

現在進行中



麻薬・ヘロイン依存症適応のフェーズ2臨床試験の概要

MN-166/AV411-SA

N = 24

対象：治療希望の麻薬・ヘロイン依存症患者

デザイン：プラセボ対照無作為二重盲検、クロスオーバー

用量：プラセボ または イブジラスト100mg/日

期間： 20日間（病棟） x 2セッション

❖ 身体所見、血液検査、ECG、ストレスチャレンジ

禁断症状、精神状態、麻薬渇欲度、麻薬の自己投与の有無

パートナー



タイミング

現在進行中

パイプライン開発状況-2

MN-001 (タイペルカスト Tipelukast)

- 非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH)
- 進行性NASH (NASH+ 線維化)
- 特発性肺線維症 (IPF)

MN-001

Tipelukast





MN-001 (タイペルカスト) の概要

- ✓ 新規低分子化合物、経口 錠剤
- ✓ ロイコトリエン拮抗作用、PDE3&4阻害、5-リポキシゲナーゼ阻害など多彩なメカニズム
- ✓ 臨床的には抗炎症、抗線維化作用を持つと考えられる

過去の開発経緯

気管支喘息、間質性膀胱炎への適応

- ✓ 喘息治療薬：軽度から中等度の喘息患者に対するフェーズ2試験で良好な結果
- ✓ 現在まで600名以上に投与経験
- ✓ ~1500mg/日投与量で良好な認容性、安全性が確立

線維化疾患への適応

- ✓ 5-リポキシゲナーゼ(5-LO)経路を介したロイコトリエン生合成阻害による炎症の軽減および、線維化軽減の可能性が示唆
- ✓ NASH, 進行型NASH, IPF 動物モデルスタディで、組織染色による線維化スコア、生化学的検査、遺伝子発現検査などで、著明な抗線維化作用を確認



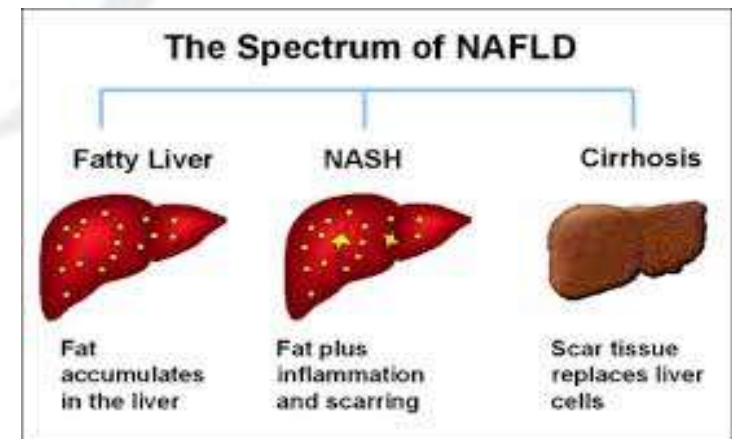
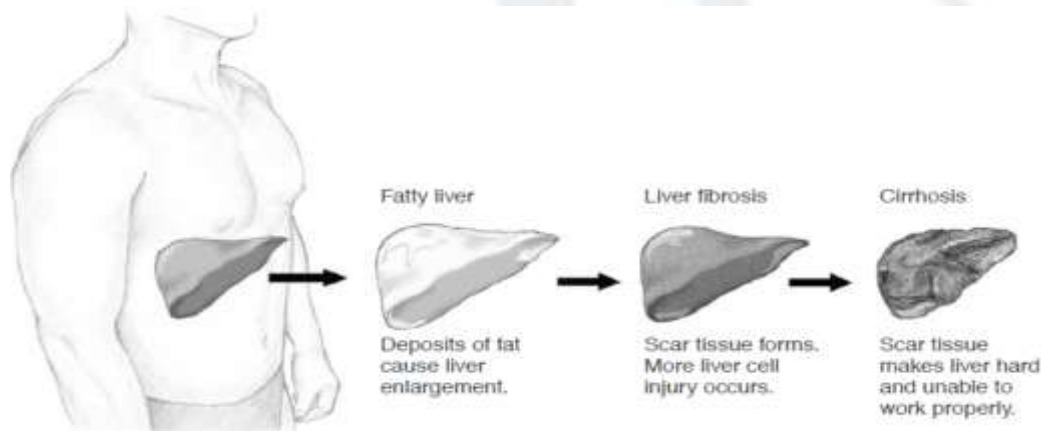
NASH（非アルコール性脂肪性肝炎）とは？

NAFLD (Non-alcoholic fatty liver disease) :

- ✓ 肝細胞のダメージがない脂肪肝 – アメリカで30百万人以上の患者

NASH(Non-alcoholic steatohepatitis):

- ✓ 肝細胞のダメージがある脂肪肝（炎症、線維化、結節など）
- ✓ 肝臓の線維化が進むと、不可逆的変性をおこし、肝硬変・肝不全の原因
– アメリカで8.5百万人以上の患者
- ✓ 現在、FDAに認可されている治療薬は無い

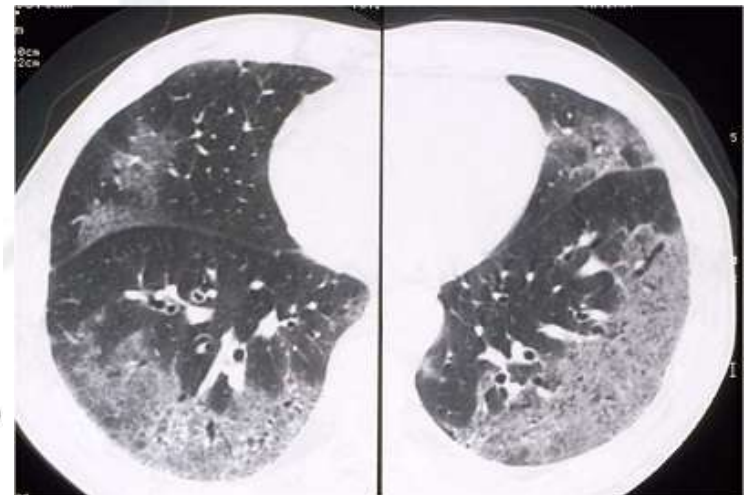
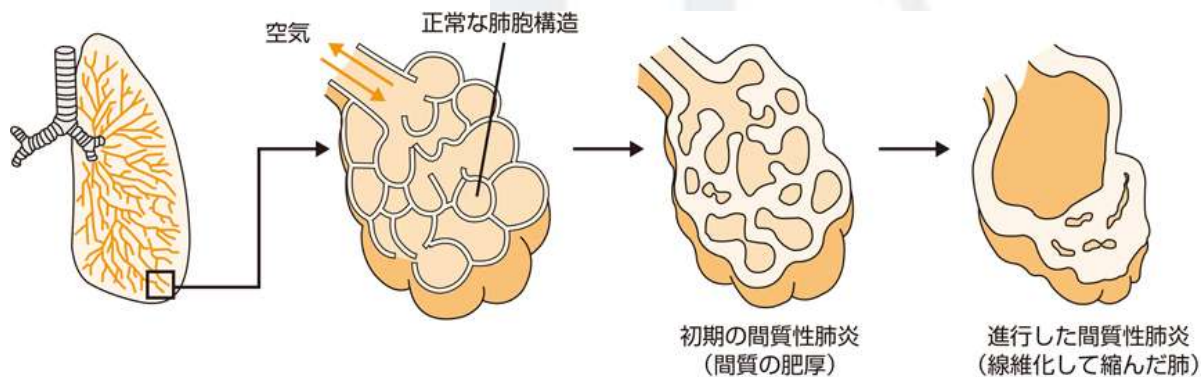




IPF（特発性肺線維症）とは？

IPF (Idiopathic Pulmonary Fibrosis) :

- ✓原因不明の肺実質の線維化疾患
- ✓進行性で致死的疾患、多くが診断から5年以内に死亡
- ✓アメリカでの罹患者は130,000人程度、稀な疾患（オーファンドラッグ指定）
- ✓昨年FDAにより承認された治療薬は重症例での治験実績は無し



2015年の開発予定



2015年の開発予定

MN-166

- ✓ 現在進行中の治験のスムーズな進行のサポート
- ✓ 治験プログラムの綿密な安全性モニター
- ✓ 各種申請手続き、FDAとの緊密な協議
- ✓ 学会・論文発表

MN-001

- ✓ NASH適応でフェーズ2治験開始
- ✓ IPF適応での治験開始（ODD承認済み）

2014年12月期決算状況



2014年12月期決算業績

		2014年12月期 (当期実績)	2013年12月期 (前期実績)	前期比 (%)
売上高 (営業収益)	千米ドル	–	6,003	100%減少
	百万円	–	716	
営業損失	千米ドル	9,223	4,021	129%増加
	百万円	1,100	480	
純損失	千米ドル	9,195	4,029	128%増加
	百万円	1,097	480	

営業収益：0千米ドル

〈前期比：6.00百万米ドル（約7.2億円）減少〉

営業損失：9,223千米ドル

〈前期比：5.20百万米ドル（約6.2億円）増加〉

純損失：9,195千米ドル

〈前期比：5.17百万米ドル（約6.2億円）増加〉

結果：

- 当期営業損失、純損失ともに2014年3月28日発表の通期業績予想とほぼ同水準の実績となった

為替レートは2015年2月27日
三菱東京UFJ銀行のTTM1ドル=119.27円を使用



2014年12月期通期業績の予実対比

(千米ドル)	2014年12月 期業績実績	2014年3月28日発 表の2014年12月期 通期業績予想	増減額 (%)
売上高 (営業収 益)	—	—	±0(±0%)
営業損失	9,223	9,094	+129 (+1.4%)
純損失	9,195	9,094	+101 (+1.1%)

営業損失予実対比 : 0.1百万米ドル増加

純損失予実対比 : 0.1百万米ドル増加

- 当期営業損失、純損失ともに2014年3月28日発表の業績予想とほぼ同水準となった



要約貸借対照表

(千米ドル)	14年12月期	13年12月期	増減
現金及び現金同等物	11,669	6,700	+4,969
未収債権 (純額)	-	6,009	△6,009
前払費用及びその他の流動資産	463	1,674	△1,210
のれん (アライメント関連)	9,600	9,600	-
仕掛研究開発費	4,800	4,800	-
中国JV投資	685	681	+4
有形固定資産 (純額) 及び保証金	56	82	△27
資産合計	27,273	29,546	△2,273
支払債務	462	34	+428
未払費用	346	240	+105
未払給与及び関連費用	786	186	+600
短期および長期繰延収益、賃料	1,713	1,704	+9
繰延税金負債	1,956	1,956	-
負債合計	5,263	4,120	+1,142
優先株式(額面0.01米ドル)	2	2	-
普通株式(額面0.001米ドル)	24	22	+2
払込剰余金	332,667	326,869	+5,798
その他包括損失累計額	△101	△81	△20
開発段階での累積欠損	△310,592	△301,387	△9,205
株主資本合計	22,011	25,426	△3,415
負債及び株主資本合計	27,273	29,546	△2,273

現金及び現金同等物 (+未収債権) : 11.7百万米ドル

〈前期末比 : 1.0百万米ドル (約1.2億円) 減少〉

- 2015年3月31日現在の現金は約9.5百万米ドルと見込まれ、2016年3月31日までの運転資金をカバー

資産合計 : 27.3百万米ドル

〈前期末比 : 2.3百万米ドル (約2.7億円) 減少〉

- 新株発行により4.2百万ドルの資金調達実施、営業活動により0.9百万米ドルの現金収入を得たことにより、現金及び現金同等物が5.0百万米ドル増加、ジェンザイム社からのマイルストーンが全額回収されたことにより未収債権が6.0百万米ドル減少、前払費用等が1.2百万米ドル減少したことを主な要因として資産合計が2.3百万米ドル減少

負債合計 : 5.2百万米ドル ※有利子負債は引き続きゼロ

〈前期末比 : 1.1百万米ドル (約1.4億円) 増加〉

株主資本合計 : 22.0百万米ドル

〈前期末比 : 3.4百万米ドル (約4.1億円) 減少〉

- 開発段階での累積欠損9.2百万米ドル増加
- 新株購入契約の実施、ワラントの行使等により、2014年中に1.9百万株の普通株を発行、これにより払込剰余金が5.8百万米ドル増加



要約損益計算書

(千米ドル)	2014年12月期	2013年12月期	増減
売上高	-	6,003	△6,003
営業費用			
研究開発費	3,260	3,366	△106
一般管理費	5,963	6,658	△695
営業費用合計	9,223	10,024	△801
営業損失	9,223	4,021	△5,202
その他費用	△13	△25	+12
支払利息	△1	-	△1
その他収益	37	21	+16
法人税	4	△4	+8
当期純損失	9,195	4,029	△5,167

売上高：0百万米ドル

〈前期比：6.0百万米ドル（約7.2億円）減少〉

- 前期はジェンザイム社からのマイルストーン6百万米ドルを売上計上したが、今期は売上が発生しなかったため

研究開発費：3.3百万米ドル

〈前期比：0.1百万米ドル（約0.1億円）減少〉

- ほぼ前年通りの実績となった

一般管理費：6.0百万米ドル

〈前期比：0.7百万米ドル（約0.8億円）減少〉

- 財務会計関連コンサルティング料の減少、人員削減に伴う人件費の減少を主な要因とする



2015年12月期通期業績予想

(千米ドル)	2015年12月期 通期業績予想	2014年12月期	対比増減額 (%)
売上高 (営業収益)	-	-	±0 (±0%)
営業損失	10,943	9,223	+1,720 (+18.6%)
純損失	10,943	9,195	+1,748 (+19.0%)

売上高

2015年12月期：0百万米ドル（約0億円）

- 現時点で営業収益を見込まず

営業損失

2015年12月期：10.9百万米ドル（約13.1億円）

- 〈2014年12月期対比：1.7百万米ドル（約2.1億円）増加〉
- 開発費の1.7百万米ドルの増加を想定

純損失

2015年12月期：10.9百万米ドル（約13.1億円）

- 〈2014年12月期対比：1.7百万米ドル（約2.1億円）増加〉
- 有利子負債残高がゼロとなっており、支払金利を見込まず

•上記の予想は本資料の発表日現在において当社の立てたある前提に基づくものであり、これら前提は経営陣の経験や過去の傾向、現況、期待される将来の進展、及びその時の状況下において適切と判断する他の要因に対する経営陣の認識に基づくものであります。このような予想は多くの前提、リスク、不確定要素の影響を受けますが、これらの多くは当社のコントロールが及ばないものであり、実際の当社の業績は上記の予想と大きく異なる事があります。これらリスクにつきましては、米国証券取引委員会（SEC）提出のメディシノバにかかる文書に詳述されているリスクファクターが含まれています。リスクファクターの詳細に関しましては、2015年3月12日（米国夏時間）にSECに提出されておりますForm10-Kをご参照下さい。

メディシノバの株価状況



1株当たり指数と時価総額

三菱東京UFJ銀行の為替レート（TTM）を使用
2015年2月27日、1ドル=119.27円

2014年12月（当期末）		2013年12月（前期末）		（百万円）	2014年12月	2013年12月	増減	単位
(貸借対照表イメージ図)				現金及び現金同等物	11,669	6,700	+4,969	千米ドル
		（内）現預金 11,669	（内）現預金 6,700	資本合計	22,011	25,426	△3,415	千米ドル
		（内）未収債権 6,009	負債 4,120	1株当たり純資産	2,625	3,033	△408	百万円
		固定資産 15,141	固定資産 15,164	1株当たり現金及び現金同等物	0.90	1.13	△0.23	米ドル
		負債 5,263	資本 25,426	1株当たり現金及び現金同等物	107	135	△28	円
				株価	2014年12月30日終値	2013年12月30日終値		
				ナスダック	3.02	2.13	+0.89	米ドル
				ジャスダック	366	222	+144	円
				時価総額				
				ナスダック	73,798	47,915	+25,883	千米ドル
				ジャスダック	8,944	4,994	+3,950	百万円
				発行済株式数	24,436,317	22,495,443	+1,940,874	株



JASDAQとNASDAQ市場の株価比較

1日あたりの平均出来高





JASDAQ証券コード : 4875



ナスダック Ticker : MNOV